

シルバーを取り巻く環境の変化

ここ数年の間にシルバーを取り巻く環境が大きく変化しています。マイナス要因としては、①会員の減少により、区民の方々から依頼のあった仕事をしてくれる会員のコーディネーターが困難になってきていること。②適正就業の指導により、シルバーの一部の業務契約解除や選挙における期日前投票が受託できなくなったこと。③大口契約の会社の事業廃止による契約解除に伴う減収。④平成24年度から公共部門の発注が減り回復していないこと。などがあります。

また、平成27年度からは国の補助金が280万円減額されることが決まっており、センターの運営はますます困難になることが予想されます。

このようなマイナス要因を取り除き、さらにセンターを発展させるため、年間を通じて会員募集や仕事を確保するため、様々なメディアを活用しセンターのPRに取り組みできました。また、落ち込んだ契約額を補うため、民間に活路を求め契約額の増を図ってきましたが、落ち込んだ実績を回復させるまでには至っていないのが現状で、今年度決算予測は昨年を引き続き前年を割り込む結果になりそうです。

こうした状況の中で、今後のセンター運営の課題は、①減少している会員を如何に回復していくか。②会員の増加を見込んだ新規事業の開拓をすること。③時代の変化を見越した新規事業の受託の可能性を検討すること。が挙げられ、平成28年度を始期とする「中期計画」に盛り込み、確実にセンターを発展させていくことが喫緊の課題になっていきます。

一方、センターにとってプラスになる情報もあります。その一つが、介護保険法改正に伴う要支援者のサービス提供の受け皿としての期待があること。もう一つは、平成28年度以降、シルバー型労働者派遣の実施が可能になること。があります。

要支援高齢者の支援業務については、現在、区で検討中ですが、サービス提供の中心的存在としてセンターが位置づけられることは確かなようです。

また、シルバー型労働者派遣については今後の連合での検討結果を参考にするとともに、先行センターの状況を分析しながら品川としてどのようにしていくのかの検討が求められています。

以上のようにセンターを取り巻く環境が大きく変化する中で、今後のセンター運営のかじ取りが必要になっていきます。

平成27年度事業計画・予算の概要・高齢者が健康で生涯現役で働ける地域社会の実現

日本の65歳以上の高齢者は、3190万人、人口の25・1%、4人に1人になっていきます。とりわけ65歳〜74歳人口が団塊の世代が65歳を迎えたことにより前年に引き続き増加しており、我が国は世界のどの国も経験したことのない高齢社会を迎えています。

一方、生産年齢人口(15〜64歳)は7901万人と32年ぶりに8000万人を下回りました。

このような少子高齢社会の中で、高齢者が自らの経験や知識を生かし働らくことで、健康管理と生きがいの追求・地域社会に貢献することが求められています。また、収入を得ることにより生活の質的向上を目指していくことは意義あることだと思えます。

このような背景と先に述べたシルバーを取り巻く環境の変化を的確にとらえ、様々な課題に果敢に取り組む事業計画を策定することが必要です。また、今年度は中期計画の最終年度に当たります。計画で定めた目標に少しでも近づけるよう努力も求められます。

さらに、平成26年度も会員の事故が数多く発生していることから、安全就業・事故防止への取組みも

重要です。

以上の状況を勘案し、今年度の基本方針を①会員の増強、就業機会の確保・拡大②地域に信頼の輪を広げていくこと③住み続けたい地域社会づくりに貢献すること。とし具体的な目標を

会員数	2700名
受託件数	1万6500件
契約金額	12億8000万円

と決めました。
以上のような背景から、今年度の予算を次の通り編成いたしました。

受託事業収入	12億5129万円
会費	540万円
補助金	9396万円
その他	45万円
経常収益計	13億5110万円
前年比	△1380万円
事業費	13億5080万円
管理費	306万円
経常費用計	13億5386万円
前年比	△3176万円
当期経常増減額	△276万円
正味財産期末残高	8546万円
前年比	899万円

平成27年度予算も昨年に引き続き276万円の赤字予算になっていますが、平成25・26年度の剰余金を充当するもので適正な会計になっております。

なお、この予算案は3月理事会で修正される場合があります。

介護保険法改正に備えた会員育成

昨年の6月に介護保険法が改正され、平成27年度から順次施行される予定です。今回の改正の趣旨は、認知症を含む重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築にあります。

このシステムは、保険者である市区町村が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて創り上げるとしています。

現在、品川区でこのシステムの構築をどう進めるのかの検討がされていますが、シルバー関連では地域包括ケアシステムで予定されている多様な生活支援サービス（ゴミだし・洗濯物の取り入れ・食器洗い・配食・見守り・安否確認など）提供主体の一員として役割を担って行けないかと言うものです。

このサービスは高齢社会において将来にわたり安定的に供給される必要があるとなり、シルバーとしても大きなマーケットに発展していくことが想定されます。

シルバーの会員がこの事業にかかわることにより、自らの介護予

防と、何よりも仕事を通じて住み続けたい地域社会の構築に貢献できるとするシルバーの理念を実現する絶好の機会となります。

現在、センターにおいては、日常的に高齢者の生活周辺援助サービスの提供や地域コンビニサービスを提供しており、一定のノウハウを所有していますが、この需要が大きく膨らみシルバーの中核的な仕事に発展する可能性を秘めています。

このような社会環境を的確にとらえ、会員の就業機会の拡大に精力的に取り組むべきと考えます。この需要に対応するため、サービス提供の主体となる会員の養成に今から取り組むことが重要です。

世田谷区シルバー人材センターでは区と協議し、他自治体に先駆け1月から高齢者の生活周辺サービスの提供を実施しています。当センターにおいてもこのチャンスに乗り遅れることのないよう十分な検討と準備を行い、会員の安定就業とシルバーの発展に向けた取り組みが必要です。そのため、会員の育成していくことが重要で今から会員育成を図ってまいります。

会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

会員の健康管理・区民検診受診

最近、会員が減少してきていることは皆さん周知のとおりです。会員の退会理由は様々ですが、病气やけがによって止む無く仕事ができなくなるといった状況もあります。シルバーの目指すところは「生涯現役」です。健康を維持し働き続ける条件を整えるために健康診断の受診をお勧めいたします。民間医療機関での人間ドックに加え、品川区では、「成人のがん検診・各種検診」「肝炎ウイルス検診」「成人歯科健康診査」など様々な検診制度があります。また、国保加入者に対しては「国保基本健診」や「国保保健指導」があります。一部有料のものもありますが比較的安価で検診が受けられますので是非ご利用ください。

安全標語優秀作品表彰



1月26日に開催された理事会において、平成26年度安全標語の優秀作品の表彰式が行われました。今年は2つのテーマに52名の会員と職員より82点の応募があり、それぞれのテーマの最優秀作品と優秀作品が選ばれました。受賞者の皆様おめでとうございます。

なお、平成27年度は最優秀作品をセンターの標語として、1年間事故防止と安全就業に取り組みます。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

テーマ①危険予知による事故防止

最優秀賞 落ちるかも 転倒するかも

すべるかも 職員 山崎高裕

優秀賞 あわてない あせる気持ち

事故になる 武石 努会員

たしかめて 見直す勇気で 事故防止

酒井 儀幸会員

テーマ②安全に関わるテーマ

最優秀賞 油断せず 安全確認

一度 中村 義明会員

優秀賞 遅れちゃう あせる気持ち

事故を呼ぶ 職員 長田 正

仕事前 準備体操 ケガ予防

職員 和田裕美子

各地区の新年全体会は、1月13日の中延地区から、1月26日の品川北・八潮・大井地区まで10地区すべてで、会員約600名の参加により盛大に開催されました。

今年は昨年に引き続き、安全就業・事故防止に向けた取り組みや、実際に事故を起こしてしまった会員からの反省と報告、会員募集ポスターの掲示依頼など、充実した内容になりました。

各地区とも従前にもまして、獅子舞や手品、カラオケ・ダンス・ビンゴなど様々な工夫がなされ、また、豪華なお弁当に舌つづみをうち、お酒も加わり仲間の会話が弾み大いに盛り上がった全体会になりました。



地区委員の紹介をする
和泉委員長 品川北地区



自慢のウクレレと
喉を披露してくれた
猪狩会員 品川南地区



マンドリンの合奏で
大いに盛り上がりました
大井東地区



シルバーの近況を
話す長田事務局長
大崎地区



凡从亭志ん功氏の出前寄席で
初笑いしました 八潮地区



みんなの笑顔があふれました

交流と親睦を深めた

新年地区全体会

笑福

小野瀬副会長の新年の
あいさつを聞く会員
大井地区



公益社団法人 品川区シルバー人材センター
大井西地区全体会



新春の挨拶をする戸川会長
大井西地区

品川区シルバー
人材センター 戸越地区新



新年の挨拶をする
小野瀬副会長
戸越地区

柏招夫氏の
「笑って笑って」を
聞き爆笑する会員
中延地区



今年も元気で
頑張ります
荏原地区



緊急事故防止会議が 開催される

3月3日にしごと財団で「緊急事故防止会議」が開催されました。今回の会議は、都内のセンターにおいて死亡事故が4件発生したことにより緊急に開催されたものです。

小林事務局長の挨拶に続き、丸山指導員より今年度の死亡事故4件の報告がありました。3件は交通事故でそのうち2件は歩行中、1件は自転車乗車中の死亡事故です。残る1件は植木剪定中の転落事故です。いずれの事故も、会員が交通規則や安全就業心得を遵守し十分な注意をしていれば防げた事故です。会員の皆様には今一度「事故は自分にも起きる」との意識をもって就業に励んでいただきますようお願いいたします。

引き続き、警察官による「高齢者の事故防止対策」では、高齢者の行動特性と事故の関係や自転車事故においては出会いがしらの事故が多く、その原因の多くは、自転車側が交通ルールを守らなかったことにより発生していることが報告されました。

最後は、高齢者体力づくり支援士ドクターにより、「加齢に伴う体力の低下」の講義と、背伸びや関

節の回転などストレッチ体操を実施し終了いたしました。会員の皆様があくぐれも事故を起こすことのないよう注意をお願いいたします。

シルバー人材活用ガイド (保存版)の配布完了

継続した会員の増強並びに事業拡大を図るため作成した「シルバー人材活用ガイド」、第二回目平成25年11月、第二回目平成26年3月、第三回目を平成26年9月に配布を実施いたしました。

平成27年3月に四万九千部を配布、合計で二十二万部を品川区内全戸に配布を行いました。

掛け紐を付いたり、身近なご案内など、色々工夫して作成した「活用ガイド」、区民の皆様から大変便利で活用しているとの言葉を多数いただきました。

今後のセンター事業拡大に少しでも貢献できればと役員一同心より願っております。



入会出張相談

近年のシルバー人材センターの課題は、会員数が伸び悩んでいることです。

毎年、シルバー人材センターでは、各地区において入会出張相談会を行なっております。

今年度は、サポしながわ(無料職業紹介所)と連携して入会出張相談と出張求職登録会の合同開催(年4回)の回数を拡大する予定です。

合同開催することで、多くの高齢者に足を運んでもらい、ワンストップで対応することにより、相談者の利便性を向上させ会員拡大を図ります。直近の開催予定は、次のとおりです。

- 4月 四月一五日(水)
南大井文化センター
午前十時～午後三時
- 5月 五月二七日(水)
大井第三地域センター
午前十時～午後三時
- 6月 六月三〇日(火)
荏原第五地域センター
午前十時～午後三時
- 7月 七月二四日(金)
大崎第一地域センター
午前十時～午後三時

色々とり組んでいます センター事業のPR

会員の増強、受注の拡大は、センター事業推進の両輪です。センターでは次のようなPR活動を実施しております。

- 新入会員の方に、入会手続き終了後、直ちに会員募集のPRチラシ300枚の配布をお願いいたします。
 - 包丁研ぎなどの「のぼり旗」を本部・支部・支所に立てております。
 - 年二回開催している地区全体会において、会員宅に会員募集等のポスター掲出をお願いしています。
 - センターの取引先である協力店に事業案内掲示板の設置をお願いしています。
 - 広報しながわに、会員募集や入会出張相談等の記事を、随時掲載をお願いしております。
 - 東急バスの大井町・渋谷間の往復でセンターの車内アナンスを実施しております。
 - 支部・支所において、事業案内掲示板を設置しております。
- 会員の皆さんで、センター事業のPR方法で、良いアイデアがありましたら是非事務局にご二報下さい。

シルバー事業の紹介
品川区消費生活展への参加



2月14日(土)・2月15日(日)の2日間に渡ってきゅりあんにて開催された『品川区消費生活展』に今年もセンターのブースを出展してきました。

今年の品川区消費生活展は「ゆたかな暮らし、つながる地域」をテーマに、『社会貢献活動しながわ』との同時開催となりました。

センターのブースを出展した7階イベントホールでは、50を超える団体の魅力あふれるブースが出展し、ステージ上ではダンスや合唱の他、生活に役立つ再現劇など様々な催し物が行なわれ大盛況でした。

センターのブースでは毎年恒例となっている包丁研ぎの受付と、センターPR用品(パンフレットとエコバック

やマスクのセット)の配布を行ない、センターへの入会案内と仕事を発注していただけのようPRいたしました。

今年は昨年とブースの位置が変わり、出入口すぐの目立った場所となった為、ほとんどの入場者の方々にPR用品を渡す事が出来、効果的なPRになりました。パンフレットを片手にどんなお仕事があるのか、入会するにはどうすればいいかなど、意欲的にセンター事業についてご質問頂く方も見受けられました。

包丁研ぎは昨年以上の大盛況：とまではいかず、受付本数は昨年を下回りましたが、毎年お持ちになる根強いリピーターの方もおり、改めて会員さんの丁寧な仕事が評価されているのだと実感しました

高齢者作品展4名の
会員が受賞

1月17日から20日にかけて、大崎のO美術館にて高齢者作品展が開催されました。会場にはたくさんの方が来場され、大賑わいのうちに終了いたしました。

シルバー人材センターでは、今年も区から委託を受け、会場設営から受付・管理・撤去までの仕事を延べ26名の会員が運営に当たりました。

設営については、毎年作業を行っているベテラン班長を中心に、各会場

の見栄えやバランスなどを試行錯誤しながらより良いものにしていくことの努力の結果、素晴らしい会場が出来上がりました。

本作品展には、シルバー人材センター



絵画部門(銅賞) 田中勝子 会員



絵画部門(金賞) 宮本克彦 会員

の会員さんからも多数の出展があり、今年も4名の方が入賞されました。

入賞作品は次のとおりです。



写真部門(銅賞) 片岩 功 会員



写真部門(銀賞) 萩原智治 会員

定時総会のお知らせ



平成27年度の定時総会を左記のとおり開催いたします。

総会は、センターの最高の議決機関で、会員から頂いた意見をセンター運営に取り入れ、より民主的なセンターにしていくなために開催されます。多くの会員の皆様に参加をいただき活発な議論をいただきますようお願いいたします。

一、日時 6月12日(金) 13時30分(午後1時開場)

二、会場 きゅりあん大ホール

三、議題
平成26年度事業報告・平成26年度決算

平成27年度事業計画・平成27年度予算

役員の選任について
その他

事務局長が変わりました



長田元局長



久保田新局長

平成24年度から事務局長・常務理事を務めていただきました長田局長が3月末に退任されました。長田局長にはセンターの発展のためご尽力をいただきお疲れ様でした。

退任後は、趣味のゴルフと釣りにまじめに取り組み余生を楽しまたいとのことです。

新任の事務局長は、久保田孝之氏が就任されます。3月までは区の会計管理者として活躍されていた方で、今までシルバーに関係することはありませんでしたが、会員の皆様や職員と楽しく仕事をしていきたいとのことでした。

長田局長同様皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

職員の人事異動

3月31日付退職

ゆたか支所
本部

春日文雄
白川栄作

4月1日付移動

鈴木祥司 荏原→本部
菅井竜也 本部→ゆたか

新規採用職員紹介



初めまして。白井 祐子と申します。この春よりご縁あって、皆さまと一緒に働かせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いたします。

前職は湯沢町役場にて6年間奉職して参りました。

御社への志望理由は、今の日本を作ってくださった先輩たちへの感謝の想いからです。地元

では、おじいさん、おばあさんのことをお父さん、お母さんと愛情を持って呼んでいました。

御社においても呼び方は変わっても、愛情と親しみを込めて接していきたいと思います。

皆さまには、ご迷惑をおかけすることもありますが、一生懸命に励みますのでご指導くださいますようお願い申し上げます。

就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

四月 九日(木) 午後一時～午後四時
本部 本多理事
荏原支部 射水理事

五月十四日(木) 午後一時～午後四時
本部 小野瀬理事
荏原支部 射水理事

六月十一日(木) 午後一時～午後四時
本部 本多理事
荏原支部 射水理事

あしがき

今年の歌会始のお題は「本」でしたが、皇后様の「来し方に本てふ文の林ありてその下陰に幾度憩ひし」は80年の過去を顧みた良い歌ですね。読書は正にその人なりの歴史でしょうか。一般から選ばれた15歳の少女が「この本に、すべてが詰まっているわけじゃない。だから私が続きを生きる」と詠みましたが、過去に頼るだけではなく、大切なのはこれからの自分の生き方だと若々しく胸を張ったのが印象的でした。

我々高齢者にとって、新しい本もいいでしょうが、もう一度読んでみたい本に挑戦するのは如何でしょうか。きつと新しい発見があることでしょう。4月は老若共にスタートの時です。

(編集委員・村田芳久)

会員総数

平成27年2月28日現在

2,607名

男

1,504名

女

1,103名